

横須賀市議会議員

長谷川昇 市政報告



2019年4月～横須賀市議会議員三期目当選
所属:総務常任委員会・三浦半島地域連合議員団
会議事務局長 所属会派:よこすか未来会議
事務所:〒240-0101 横須賀市長坂 3-3-1
E-Mail:hasedon2@gmail.com
連絡先:046-854-7288

※新公式HP 長谷川昇
<http://hasedon.info/>



2019～2022年の活動をまとめて報告します。

1. くらし LIFE とともに生きる社会をつくりたい

- ◆高齢者や障がいのある方もともに安心して暮らせる街をめざします。
- ◆出産・育児などの子育ての課題、介護・地域医療及び、感染症対策の課題にとりくみます。
- ◆非正規雇用の問題、地元産業の育成と雇用の創出にとりくみます。



■市民の声をカタチに コロナ禍でのオンライン会議

▼2020年から始まった新型コロナウイルスによる感染症、市民からの声を直接行政に伝え、市民に広報して行くことを主眼に、会派として「オンライン未来会議」を開催。コロナ禍でありながらも市民意見を聴取し、市議会に設置された「コロナ協議会」等で会派の要望を出しました。



◎議会内外での質問・意見・提言

▶新型コロナウイルス感染症の市の対応について、市民の声を聞きながら会派とともに取り組みました。



▶市民病院の環境整備について、市民の声を聞きながらとりくみました。/「市民病院にコンビニを！」議会で質疑しました。

▶全児童を対象とした無償の放課後子ども教室を市内の小学校に配置する様意見反映しました。

▶「横須賀市子ども権利を守る条例」の制定に向けて、子どもへの虐待に対して、行政や関連機関が迅速で的確な対応を取る必要性を会派とともに意見反映しました。



昨年10月25日、市民病院にコンビニ・オープン!

2・教育 EDUCATION ゆたかな教育のための環境づくり

- ◆子どもから高齢者まで、一人ひとりの学びを保障するための条件整備等につとめます。
- ◆「教師が子どもと向き合う時間を確保する」ために、
定数の改善や教員不足、学校現場の多忙化の解消にとりくみます。
- ◆格差社会の進行による「子どもの貧困」が深刻です。
学ぶ機会を保障するための教育環境の整備にとりくみます。

■学校現場の声をカタチに 文科省に直接意見交換/少人数学級改善・教員免許更新制廃止へ

▼学校現場の多忙化、教員不足、その解決策が具体的に進んでいなかった。市の教育委員会は「定数配置は国がやるべき」と答えに終始した。▼2020年11月、文部科学省と直接の意見反映をする機会を得た。定数改



善の必要性や現状認識を質疑したが、新型コロナの密回避という理由も加わり、それまで停まっていた「少人数学級の改善」が大きく進んだ。偶然にも懸案事項が動く時期でもあり、当事者との意見交換は意味のあるものだった。▼続いて、2021年には、「免許更新制度」と「教員不足」について質疑した。翌年7月、「教員免許更新制度」も廃止となった。▼また、市議会での継続した取組みでは、横須賀市議会では、「教育予算の拡充・教職員定数の改善」の請願については、多くの議員のご賛同をいただいて11年連続して可決し、国に意見書を提出できた。「教員の数を増やして欲しい」という声は、現場から最も多い声だ。定数改善の法改正の実現に向けてはまだまだ時間がかかるが、国民的な幅広い運動にしていく必要がある。

◎議会内外での質問・意見・提言

▶35人以下学級の実現に向け、幅広く理解を求め文部科学省に直接意見反映をしました。

▶教職員の多忙化を改善するよう、市教育委員会に具体的な取り組みを強く求めました。



▶教員免許制度の廃止に向けて、文部科学省に対して直接意見反映をしました。

▶教育予算の拡充・教職員定数の改善に対しての請願を全会一致で可決するためにとりくみ、国に意見書を提出しました。(2011~2022)

3・地域 AREAS とともに生き、ともに学びあう地域づくり

- ◆三浦半島の自然を守り、環境問題や地域の課題にとりくみます。
- ◆横須賀の文化遺産・歴史遺産を保護するとともに、新たな文化の発信にとりくみます。

■住民の声をカタチに 1 大楠山山頂のトイレの改修費が新年度予算案に!



▼地元の方やハイキング愛好家の方達から、大楠山の山頂トイレはかなり旧式で、「使用するに堪え難い状況だ」という話を聞き調査に行ってきました。▼大楠山は三浦半島の最高峰で241m、5つのハイキングコースがあり、神奈川の景勝50や関東100名山ひとつです。今流行りの低山ハイキングで多くのハイカーが訪れる三浦半島随一の景勝地です。▼しかし、山頂トイレに入ってみると、残念



な状況……。▼そこで、大楠山山頂トイレの改修を会派の要望書に盛り込み、市長に対しても直接要請してきました。▼その結果、次年度予算に改修費が計上されました。議会で審議され、議決されれば、予算執行となります。 ※人気の「低山」ハイク 大楠山案内→



■住民の声をカタチに 2 佐島なぎさ発着の京急バスが、佐島マリーナ入口に延伸。



▼3月のダイヤ改正で、佐島なぎさの丘で発着していた京急バスが、すべて佐島マリーナ入口から発着となりました。▼これまで、佐島の海岸近くの方が市民病院に行くには、バスを乗り換えて行くしかないとのこと。

「佐島の丘まで歩くには骨がおれる」「乗り換えれば倍のお金もかかる」といった声。そういった声を元に、町内会と一緒に、2018年以来、市の担当部を通じて京急に要望して来ました。▼バスターミナルは佐島なぎさの丘の廃止し、マリーナ入り口のバス停に移動。佐島なぎさの丘のバス停は道路の方に移動します。住民の声がかたちになりました。

■住民の声をカタチに 3 長坂緑地の活用を行政・民間団体と地域住民をつなぎます

▼長坂緑地は、西武鉄道(株)2018年から寄付された広大な土地で、かつて横須賀市がゴミ処分場として谷を埋めて廃棄物を捨てた場所も多く含まれます。▼NPO法人が休耕田を復田させるなど、里山づくりが進んでいますが、現在民間企業・NPO法人も交えた活用計画が進んでいます。▼今後、住民の皆さんも交えたアイデアを活かして、公園整備が進むようつないでいきます。



◎議会内外での質問・意見・提言

▶芦名浄楽寺の運慶仏の国宝化や地域の歴史遺産としての認知度の向上にとりくみました。



2022「運慶展」大盛況

▶台風で長年通行止めとなっていた「子安の散策路」が開通しました。



秋谷・子安のお地藏さん



荒地が開墾され



レタス畑に

▶荻野小学校隣地の耕作放棄地を地元農業生産法人につなげました。

4・平和 PEACE 安全と安心は生活の礎（いしずえ）

- ◆日本国憲法の理念を生かし、核兵器の廃絶、「恒久の平和」の実現にむけてとりくみます。
- ◆地球温暖化にともなう自然災害に対して、市民のいのちを守る観点からとりくみます。
- ◆市民の安心安全が保障されるよう、原子力艦船に起因する問題にとりくみます。

■ 安心・安全をカタチに 自然災害等から市民の命や安全を守るために

▼ロシアのウクライナ侵攻、日本と近隣諸国との緊張関係など国際的な政治課題は山積しています。日本国憲法の理念を生かすこと、核兵器の廃絶、「恒久平和」の実現を強く願っています。▼また、市民の安全と安心を守る観点から、自然災害等の防災や原子力艦船の課題にとりくみます。

◎議会内外での質問・意見・提言

▶歴史遺産としての貝山地下壕の活用について、学生が学べるように意見反映しました。



2022 歴史遺産が見学可能に。

▶2019年台風15号の際に被災地（千葉県鋸南町）に重ねて訪問し、横須賀市の支援につなぎました。



2019 横須賀の清掃車が活躍

▶平和首長会議への横須賀市の参加について、具体的な活動を求めました。



会派・よこすか未来会議

よこすか未来会議は、2019年に結成した会派。市民の声を大切にするを中心にして、政策課題をマニフェストとして公開。コロナ禍でもズーム会議を行い、市民からの意見集約を積極的に行ってきました。次期統一地方選では、「神奈川県会議員候補予定者」として「永井まさと」を全員で応援していきます。

○写真左から、（敬称略）ついの基・嘉山淳平・工藤昭四郎・伊関こうじ・長谷川昇・葉山なおし・たかはし英昭・永井まさと

・加藤ゆうすけ・竹岡カ・小幡さおり・堀りょうすけ ※会派の取り組みは2019年・2020年のマニフェスト大賞優秀賞受賞



よこすか
未来会議

長谷川 昇 プロフィール 1962年6月30日生まれ



- ・横須賀市長坂生まれ育つ。大楠小・中学校卒業。
- ・神奈川県立横須賀高校卒業（陸上部所属）
- ・明治大学政治経済学部政治学科卒業
- ・1986～三浦高校社会科講師（陸上部・写真部顧問）
- ・1991～横須賀市立鴨居中学校教諭（男子バレー部顧問）
- ・1998～横須賀市立池上中学校教諭（ハンドボール・陸上部顧問）
- ・2007～2010年 三浦半島地区教職員組合書記長（2003～執行委員）

・2011年4月～ 横須賀市議会議員初当選。会派「研政」・2015年4月～二期目当選会派「研政」

・2019年4月～ 三期目当選。会派「よこすか未来会議」 ○趣味・料理・スキー・木目込人形

HP 更新中

